

# 英語教育/進路指導の現場から

秋田県立秋田北高等学校

教諭(兼)教育専門監

杉田 道子

# お話すること

0 自己紹介

1 英語教育

英語4技能、英語資格・検定の活用

2 進路指導

教員の指導への影響

3 高大接続・入試改革に期待すること

4 最後に

# 0 自己紹介

- 1 杉田 道子(すぎた みちこ)
- 2 英語教育 33年目  
進路指導主事 2年目
- 3 教諭(兼)教育専門監 秋田県の制度
- 4 現勤務校 秋田県立秋田北高等学校  
創立120年を迎える  
伝統校・進学校

# 1 英語教育

## 1 英語4技能

◎技能バランスを意識した指導は20年以上前から  
文科省事業、県で実施する悉皆の研修  
教育委員会の指導、教員自身の向上心

●しかし、「共通テスト」では・・・

## 2 英語資格・検定の活用

◎現場で「学習到達度」を測る物差し、  
学習者の短期的目標、指導改善の材料として

●しかし、「共通テストでは」・・・

# 英語の資格検定の活用

～生涯教育としての英語学習の視点から～

英語教育共通テスト枠に含めないことに賛成

実施面での難題

学校の特徴

検定の特徴

生徒の特徴(進路・学習履歴・好み等)

教室内での検定への対応

教室内が予備校化・塾化

イメージです

$A \subset B$

B 大学入試

A 高校の英語教育

イメージです  
A ⊂ B

# B 生涯学習

小中高大産・社会

A 大学入試

大学での英語  
学習・体験

## 2 進路指導

現場の悩み：進路指導の負担  
書類作成の煩雑さ

(1) RとL

(2)「主体性」評価

(3) 調査書の弾力化

→ 現場の不安・現場の負担

### 3 高大接続・入試改革に期待すること

#### (1) 共通テスト

- ・「全国学力・学習状況調査」化
- ・英語は特に、大学側が確かめたい内容か英語資格・検定へ完全移行するまでの「つなぎ」でなかったか。

→「リーディング」の内容の再検討を期待。  
統語は大事。大学側の求める力を確認。

### 3 高大接続・入試改革に期待すること

#### (2) 個別試験

- ・アドミッション・ポリシーに沿った4技能試験
- ・メッセージを教員・生徒が受信し、目標設定
- ・指導が評価を含む。指導につながる評価。

→ 大学の個別試験によって高校生の英語力が伸びる(=指導になる)  
「テストの波及効果」

### 3 高大接続・入試改革に期待すること

#### (3)「調査書」の長さ&評価

- 担任や現場の負担の「実際」を理解してほしい。特にR3とR4。
- 大学側から「実際」を伺いたい。  
全面電子化の前も後も。

最後に

「テストの波及効果」  
指導につながる評価のあり方

教育の中身の改善 × 入試の改善